

## 議案第1号

### 令和4年度 事業計画（案）

一般社団法人びらとり観光協会は、平取町の観光振興を図り、文化の向上と産業の発展に寄与するため、令和4年度事業計画として諸事業を推進し、組織の拡充に努め、更に財政基盤の充実に向け努力します。また、新たな事業として町内の観光事業者や町民、団体のマッチングを図り、観光振興推進の役割を担います。

#### 事業活動

- (1) 観光客誘致事業
  - 町外イベントにて特産品等のPR及び販売
- (2) 観光宣伝と観光客の誘致促進
  - 町パンフレット・ポスター等の作成・頒布ならびに内容等の見直し
  - 観光パンフレット新規作成
  - 旅行雑誌などを活用した観光情報の発信
  - Web ページによる情報発信情報受発信事業（HP 運営、SNS による地域イベント情報や地域団体の情報発信）
- (3) 観光土産品と観光特産等の紹介、宣伝及び提供
  - 「山の駅ほろしり」等各施設での販売拡充、町外物産展での販売チャネル拡充
- (4) 隣接他町との観光連携事業
  - 日高町、むかわ町との観光広域交流事業の推進
- (5) 観光諸行事の協力
  - すずらん観賞会
  - チャサンケ
  - びらとり食の祭典
  - 全道PKグランプリ
- (6) 平取町や地域団体の地域振興事業の受託
- (7) 地域貢献事業（新入学児童への記念品贈呈）
- (8) 平取町の観光資源を活用した商品開発・研究
- (9) 観光アンケート事業の実施
- (10) 他産業との協同振興事業

## 1. 組織活動

### (1) 会員増員

令和4年度中に1ヵ月程度の期間で会員増員活動を設定し増員を図ります。

## 2. 新たな平取の魅力創造と情報発信の充実

### (1) 広告宣伝事業

新聞や各種の情報誌等の媒体を通じ、平取町の国内での知名度を高めるための事業展開を積極的に図ると共に、平取町特有の観光資源の視覚的魅力を訴求するためにも、北海道観光振興機構等による事業への協賛及び独自広告宣伝物の作成を推進します。

### (2) 観光客誘客活動

道内者の誘客、そして道外者への町内誘客事業として、ホームページではこれまでのアクセス状況などをふまえた人気のコンテンツの磨き上げとSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）による情報発信を強化します。各種パブリシティ等を効果的に利用するとともに、旅行会社等への誘致宣伝活動について、さらに強化することによる、観光誘客を積極的に行う。SNSによる情報発信を強化し、アクセス数やフォロワー数の増加を図ります。

また、道内各種イベントに積極的に参加することによる地場産品（トマト、和牛などの食の特産品を基軸とし、アイヌ文化やすすらんなどの地場観光資源）等のPRにも力を入れ誘客を図ります。

### (3) 体験型観光の展開

アイヌ文化を一つのコンテンツとして、二風谷コタンを基軸として、アイヌ文化に触れる機会の増やしなが、町内施設、飲食や土産へと波及をすることによる、町内での滞在時間の拡大をすることによる経済効果の底上げを各関係団体等との連携を図りながら滞留型イベントを実施します。

また、宿泊施設との連携を図り、道内・更には道外への更なるPR強化するため、旅行会社への宣伝だけでなくFIT（個人旅行者）へのPR強化と魅力ある商品づくりを積極的に推進する。これまでの通過型観光を取り入れながら滞留型観光へ着手させることで交流人口の増加と地域の活性化を図ります。

## 3. 周辺地域との連携促進

北海道や日高管内等の観光関連団体、事業者との連携を深め、情報共有による観光資源の有効活用を図り誘客強化に取り組むと共に、特に日高町・むかわ町とは観光広域交流として事業展開を図り、一体的な周遊観光を目指すべく、積極的に実施してまいります。

また、広域関係町のみならずその他周辺観光協会等と連携を図り、積極的な事業展開を図ります。

## 4. 観光協会の組織強化

### (1) 体制の強化

厳しい経済状況が見込まれるなか、会員増強運動を継続し会員の増加を図ります。そのため会員メリットにつながる事業を検討します。  
経費については財務体質の強化を図るための見直しを行い、効率的な運営を行います。  
職員の意識改革を図り、コンプライアンス、非常時のリスク対応（コンティンジェンシープラン）強化などの諸課題の解決に取り組めます。

### (2) 収入確保について

収益事業の柱である自社製品については販売手法の改善をはかり売上の増加に注力すると共に、新たなる商品開発を検討し、収益事業のみならず特産品PR事業を展開していきます。

また、各委託業務を受託することにより、観光PRを実施すると共に自主財源の確保を図り、会員事業所及び町内施設への誘客へ繋がる有効的な事業を実施します。

## 5. まつり・イベント事業への協力

町内外から多くの人を集まる「まつり・イベント」は情報発信の貴重な機会であることから、各まつり・イベントへ協力し、ホームページやSNS等で観光情報の提供を図ると共に、各施設へ誘導するための施策を推進します。